

広報

やすらぎ

No.98 令和2年5月15日発行

桜にっこごみに鯉のぼり

春がいつぱいのぶなの園

ウィルスの脅威により
気持ちも沈みがちな毎日
ですが、季節は確実に
巡っています。記録的に
雪が少なかつたせいで、
気付いたら春が訪れてい
た、という感じ。そう、
待ちに待った暖かな風や
日差し、草花、土の香り
です。車で出かけなくて
も施設周辺に春はいっぱ
い。久しぶりに外に出て、
ゆっくり散策しながら美
しい桃色で着飾った桜の
木々や小さく芽吹いた春
を堪能しました。また、



みんなでお茶を飲みながら



今年の桜のピンクも鮮やかだなあ～

クラブ活動で大きな鯉のぼりの
絵に色を塗った方もおりま
す。きれいに着色した2匹の
鯉を廊下の壁に泳がせると、
施設内でも春のそよ風が感じ
られました。さらに春と言え
ば山菜！職員が採ってきた大
量のこごみの汚れ落としを数



こごみの扱いは手慣れたもの

名の利用者の方々の手伝ってもら
い、ごま和えや油炒めで味いま
した。そのおいしさは表情で十分
わかります。あらゆる感覚で楽し
むことができます。この季節、明日は
また違った楽しみが待っているか
もしれません。



絵の具できれいに着色

一足早いお花見

今年は記録的な少雪で草花の芽吹きも早まるものと期待していました。そんな中3月上旬から制作を始めた桜。数種類のピンクの花紙を使い、1枚ずつゆっくりと花びらを作っていました。簡単だと思っていたのに、なかなか上手く開く事が出来ず、利用者さんも職員も悪戦苦闘。でも少しずつコツをつかみ、ようやく作り上げる事が出来ました。入学式の時期にあわせ壁に飾ると、見事な満開の花が咲きました。「あいや~きれいだごど!」皆さんから笑みがこぼれ、一足早いお花見を楽しみました。

ディサービスがななの園



お三人の100歳に

ディサービスがたくりの園

蛭子森の高橋定雄さん、大志田の小森ハナさんは大正9年生まれの100歳。かたくりの園では、お二人の誕生日に記念色紙をプレゼントさせていただきました。定雄さんは、ハーモニカ演奏を時々披露し、他の利用者の皆さんにもたいへん喜ばれております。ハナさんは、「毎朝生卵を食べていることが、長生きの秘訣だ」と笑顔で話されておりました。これからもお元気でかたくりの園へ来ていただきたいと、職員一同思っております。



2月に入ってからマスクの発注がまったくできない状況が続いていた中、特養住民のご家族様より4月初めに手作りマスクのご寄贈がありました。様々な模様の生地で一枚一枚丁寧に縫製された立派なものなんと50枚も!。材料を集めるのも大変だったことと思いますが、さらに手間

ありがとうございます

心のこもった手作りマスク



どれもかわいくて本格的な仕上がり

ひまかけて縫い上げてくださったお気持ちに、ただただ感謝しかありません。ご希望によりお名前は掲載いたしません。素敵で貴重な手作りマスクを大切に使用させていただきます。

委託から直営へ

大切にしたい

『食』の楽しみ

ぶなの園開設以来、利用者の皆さんに提供する食事は外部の業者に委託しておりました。しかし、働き手不足等の問題等によりこれまで通りの食事提供体制の維持が難しくなり、協議を重ねながら結果としてこの4月より食事提供も法人内で実施していくこととなりました。調理員の確保はまだ万全とはいきませんが、それでもなんとかシフトを回していただける体制となり、朝・昼・夕の温かい食事を提供させていただいております。



利用者様に寄りそった食事提供を心がけて

令和2年度 辞令交付式

4月1日、新年度の辞令交付式が行われ、新採用、定年者再雇用などの辞令が理事長より交付されました。今年度から給食業務を自法人で実施することに伴い、新採用の職員が例年より多くほどよい緊張感が漂う会場。新職員だけでなく、引き続き各事業に従事する職員も含め法人全体で気持ちを締め直す意味でも、この厳粛な雰囲気は大事です。向かい風の強い介護福祉情勢ではありますが、一丸となってしっかりと歩を進めてまいります。



特別養護老人ホーム ぶなの園 家族会

毎年4月に開催している特養家族会総会は、新型コロナウイルスの感染防止のため、資料を送付しての書面議決による実施となりました。令和2年度の活動計画などすべての議案は承認され、会長副会長の留任も決定しております。家族会の皆様の心強い支えに心より感謝申し上げます。

令和2年度特養家族会役員

- 〈会長〉 菅原 利明 様 (野々宿) … 留任
- 〈副会長〉 高橋 正慶 様 (長瀬野) … 留任
高橋夕美子 様 (川舟) … 留任

和賀川



総括施設長 佐々木 一

■新型コロナウイルス感染の終息が見えないなか、緊急事態宣言の期限が延長された。施設では予防資材が手に入らない状況下に「3蜜回避」「手洗い」「咳エチケット」と自己防衛手段を強化してきた。利用者家族からの手作りのマスクには感謝の念でいっぱいだった。不要不急の外出自粛が続くが、介護は在宅勤務が出来ない職場であり、日々の感染防止に緊張感をもって取り組んでいる。幸いにも現時点で岩手県内の感染者は確認されていないが、何時自分の身に降りかかり逆に感染源になりはしないかとの不安は拭えない。苦難、災難、困難は有り難しと昔から言われるが、特に今回の「難」は喜べない。解釈を変えれば「有り難し」は「そう有ることは難しい」ことでもある。この難にひとり一人が向き合い「3蜜回避」に向け立ち上がる事が頑張る姿であり、早期にワクチンなど予防策が整い、日常を取り戻せたときに「終息ありがとう」と喜び合いたいものである。

令和2年3月1日～4月30日

【ご寄付】

・平澤安保様

【ご寄贈】

・照井まさ子様
・イズミヤ様

あたたかい善意を頂戴し

厚くお礼申しあげます



あしあと

【3月】

2日 嗜好調査(5日まで)
3日 おひなさまメニュー
出張理容
6日 かたくり山茶花の会
特養家族会三役会議
10日 広報やすらぎ発行
15日 かたくりクッキング
17日 (20日まで)
19日 春の彼岸法要
24日 りんご風呂(28日まで)
30日 理事会
全職員会議

法人の主な動き

【4月】

1日 辞令交付式
調理業務直営開始
7日 出張理容
12日 特養家族会総会
(書面議決)
17日 かたくり第三者委員会
お花見弁当
22日 特養第三者評価委員会
23日

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み
取れば、スマートフォン
でも簡単に閲覧でき
ます。ぜひのぞいてみ
てくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

《おねがい》



新型コロナウイルス
感染防止のための
対策を継続しております。

※ご不便、ご心配をおかけいたしますが、
利用者様の安全を確保するためご協力
をお願い申し上げます。

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会

編集後記

緊急事態宣言が継続となりまだ
まだ暗いトンネルの先が見えませ
ん。都市部や観光地では人通りが
閑散となった光景が異様だと伝え
ていますが、西和賀町はいつもと
変わらぬ景色。でも、会いたい人
に会えない辛さはどこで暮らして
いても同じですよ。

やすらぎ会広報委員会

照井 千春 柴田 元氣
佐々木典子 高橋 真希
高橋 渉